

## 全体財務書類の主な財政指標

項目	計算式	値	説明
資産形成度			
辰野町の資産		398.4億円	
町民一人当たり資産		196.9万円	平成28年3月31日現在の人口(平均150万円程度)
資産老朽化比率	減価償却累計額÷(有形固定合計+減価償却累計額)	41%	耐用年数に対し経過している割合(平均35~70%)
歳入額対資産比率	資産合計÷歳入総額	2.5	形成された資産が歳入の何年分にあたるか(平均3.0~7.0)
世代間公平性			
純資産比率	純資産合計÷資産合計	59.7%	返済を必要としない正味の資産の割合(平均60~70%)
将来世代負担比率	地方債÷資産合計	29.1%	資産額に占める将来世代の負担(負債額)の比重(平均15~40%)
持続可能性			
辰野町の負債		160.7億円	
町民一人当たり負債額		79.4万円	平成28年3月31日現在の人口
プライマリバランス	支払利息支出を除く業務活動収支+投資活動収支	4.6億円	地方債の元利償還額を除いた歳出と地方債発行収入を除いた歳入のバランス(値がプラスであれば経費が税収などでまかなわれている)
効率性			
町民一人当たり行政コスト		59.5万円	
弾力性			
行政コスト対税収等比率	税収等÷純行政コスト	75.2%	当年度に行われた行政サービスのコストから受益者負担分を除いた純経常行政コストに対して、どれだけが当年度の負担でまかなわれたか(平均90~110%)
行政コスト対公共資産比率	経常費用÷資産合計	36.1%	資産活用のためだけのコストがかけられているか、どれだけ資産でどれだけ行政サービスを提供しているか(平均10~30%)
自律性			
受益者負担割合	経常収益÷経常費用	16.4%	使用料・手数料等受益者負担額の行政コストに対する割合(平均2~8%)

## 算定基礎数値

財務書類等	項目	項番	値(千円)	説明
人口	住民基本台帳人口		20,237	H28.3.31現在
貸借対照表	資産合計	①	39,846,231	
	資産合計／人口	-	1,969	①／人口
貸借対照表	事業用資産-建物減価償却累計額	②-1	16,599,983	
貸借対照表	事業用資産-工作物減価償却累計額	②-2	2,123,554	
貸借対照表	インフラ資産-建物減価償却累計額	②-3	272,544	
貸借対照表	インフラ資産-工作物減価償却累計額	②-4	40,462,897	
貸借対照表	減価償却累計額計(建物・工作物)	②	59,458,978	
貸借対照表	事業用資産-建物	③-1	26,583,439	
貸借対照表	事業用資産-工作物	③-2	2,459,824	
貸借対照表	インフラ資産-建物	③-3	522,119	
貸借対照表	インフラ資産-工作物	③-4	56,141,142	
貸借対照表	有形固定資産計(建物・工作物)	③	85,706,524	
	資産老朽化率	-	40.96%	②／②+③
資金収支計算書	業務収入	④-1	13,791,092	
資金収支計算書	臨時収入	④-2	0	
資金収支計算書	投資活動収入	④-3	426,398	
資金収支計算書	財務活動収入	④-4	952,400	
資金収支計算書	前年度末資金残高	④-5	825,741	
資金収支計算書	歳入総額	④	15,995,631	
	資産合計／歳入総額	-	2.49	①／④
貸借対照表	純資産合計	⑤	23,776,124	
	純資産合計／資産合計	-	59.7%	⑤／①
貸借対照表	地方債	⑥	10,608,224	
貸借対照表	1年内償還予定地方債	⑦	985,686	
	地方債／資産合計	-	29.1%	(⑥+⑦)／①
貸借対照表	負債合計	⑧	16,070,107	
	負債合計／人口	-	794,095	⑧／人口
資金収支計算書	業務活動収支	⑨	1,473,405	
資金収支計算書	投資活動収支	⑩	▲ 1,101,951	
資金収支計算書	支払利息支出	⑪	89,429	
	基礎的財政収支(プライマリバランス)	-	460,883	⑨+⑪+⑩
行政コスト計算書	純行政コスト	⑫	12,035,898	
	純行政コスト／人口	-	594,747	⑫／人口
純資産変動計算書	税収等	⑬	9,052,604	
	税収等／純行政コスト	-	75.2%	⑬／⑫
行政コスト計算書	経常費用	⑭	14,399,390	
	経常費用／資産合計	-	36.1%	⑭／①
行政コスト計算書	経常収益	⑮	2,361,444	
	経常収益／経常費用	-	16.4%	⑮／⑭